



令和2年度 第四中学校グランドデザイン

学校教育目標 夢と志をもち、実現に向かって自ら努力し続ける生徒の育成

経営スローガン：響き合い 照らし合い 輝き合う 学校づくり

優しく

人とつながる力

- 身に付けさせたい資質・能力■
- ◇自ら進んで集団に貢献することができる
 - ・「自分の役割を果たせた」生徒が80%以上になる
 - ◇一人一人の立場を尊重し、円滑なコミュニケーションを図ることができる
 - ・「誰にでも分け隔てなく接している」生徒が90%以上になる
 - ◇いじめや差別を許さない意思をもって生活できる
 - ・「いじめや差別を許さない」生徒が100%になる
 - ◇お互いに励まし合い、成長することができる
 - ・「他の人を思いやり、互いに高め合う言動ができていく」生徒が80%以上になる

■実践事項■

- 生徒会活動や学級活動を重視し、やりがいのある活動を工夫する
- 全教育課程を通じた道徳教育と人権教育を推進する
- 小中連携を深め、「やちわっ子の行動目標」を推進する

正しく

学ぼうとする力

- 身に付けさせたい資質・能力■
- ◇学ぶ喜びを感じ、進んで学習に取り組むことができる
 - ・「授業に意欲的に取り組めた」生徒が80%以上になる
 - ・県学力調査において、県平均を半分以上の教科が上回る
 - ◇互いの考えを尊重し、学び合いながら授業に取り組むことができる
 - ・「仲間の意見をしっかりと聞き、自分の考えを表現できる」生徒が80%以上になる
 - ◇礼節をわきまえ、相手に応じて適切な応対をすることができる
 - ・「近所の人に会ったらあいさつをしている」生徒が100%になる

■実践事項■

- 積極的な生徒指導ときめ細かな個別支援で決まりを守る集団づくりを推進する
- 「熊本の学び」「ま・ナビ やつしろ」「授業改善ステップワン」の取組を推進し、特に学び合う場を重視する授業の工夫を推進する
- 四中授業モデルを確立し、生徒にとって興味深く分かりやすい授業の工夫を推進する
- 自学ノート及び宿題の工夫により学習規律の確立と学習習慣の定着を図る
- 個々の教育的ニーズを把握し、個別又は小集団での丁寧な学習支援を充実させる

逞しく

自分を律する力

- 身に付けさせたい資質・能力■
- ◇規範意識をもって行動することができる
 - ・「時間や決まりを守っている」生徒が90%以上になる
 - ◇自律的で健康的な生活を送ることができる
 - ・「メディア接触時間をコントロールし、規則正しい生活習慣に取り組んだ」生徒が80%以上になる
 - ◇体力向上を目指して生活することができる
 - ・「体力向上に意欲的に取り組んだ」生徒が80%以上になる

■実践事項■

- 生徒会活動等の自主的運営を充実させ、進んで健康的な生活を目指す意欲・態度を育てる
- 家庭と連携し、生徒が家庭でメディアに接する時間を少なくする
- 体力テスト等を参考に、生徒一人一人に課題を把握させ、その向上を目指す機会や場を設定する

キャリア教育の推進（夢みる力）

■身に付けさせたい資質・能力■

- ◇将来の見通し（夢や志 等）をもち、将来に希望をもつことができる
- ・「夢や将来つきたい職業がある」生徒が80%以上になる
- ◇目標達成に向けて努力し、忍耐することができる
- ・「自分の目標に向かって努力している」生徒が80%以上になる

■実践事項■

- ◇諸活動を通じて生徒の自己理解の推進と、将来を考える機会の充実を図る
- ◇郷土愛や基礎的・汎用的能力を育てるカリキュラムを見直し、実践する

人権教育

小中連携・一貫教

特別支援教育

教職員：「教育は人なり」（愛情・情熱・誇り・使命感）「組織は人なり」（同僚性・協働性）

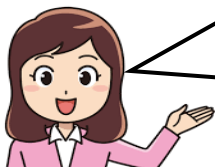
■身に付けさせたい資質・能力■

- ◇地域のために行動し、地域の一員として意欲的に活動することができる
- ・「地域の行事やボランティア活動に参加し、地域の役に立とうと努めている」生徒の割合が60%を超える
- ・社会のルール、マナー、モラルを大切にしている生徒の割合が90%を超える

家庭・地域との連携

■実践事項■

- ◇「いきいきサロン」や地域行事への参画を推進する
- ◇地域コーディネーターと連携し、個別の学習支援の充実を図る



「身に付けさせたい資質・能力」とともに、評価項目と目標数値が明確に示されています。また、その達成に向け「実践事項」が示されていることで、教職員は、学校教育目標の実現に向けた取組の具体がイメージでき、教育活動に反映させやすくなります。